

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ	(参考) 前年度事業名称※
0822	災害に強い施設の構築事業（管路の耐震化等）【上水】	公営企業局	水道整備課	2	(上水) 震災対策事業（施設耐震化）（水道整備課分）
0822	災害に強い施設の構築事業（管路の耐震化等）【工水】	公営企業局	水道整備課	3	(工水) 震災対策事業（施設耐震化）
0823	施設の更新・改良事業（構造物等の更新・改良）	公営企業局	水道整備課	4	(上水) 施設更新・改良事業（水道整備課分）
0823	施設の更新・改良事業（管路の更新・改良）【上水】	公営企業局	水道整備課	5	
0823	施設の更新・改良事業（管路の更新・改良）【簡水】	公営企業局	水道整備課	6	(簡水・中島) 簡易水道施設整備事業
0823	管路の新設・移設事業（道路改良に伴う整備等）	公営企業局	水道整備課	7	(上水) 導・送・配水管整備事業（水道整備課分）
					(簡水・中島) 導・送・配水管整備事業（水道整備課分）
					(簡水・北条) 導・送・配水管整備事業（水道整備課分）
					(工水) 導・送・配水管整備事業（水道整備課分）
1132	情報システムの運用事務（公共事業積算システム等）	公営企業局	水道整備課	8	—

※令和7年度から事務事業体系等を見直し、変更しています。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道整備課	担当G	管理計画担当	連絡先	998-9841
------	-------	-----	-------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

1.事業概要【Plan】		公営企業局事業区分		上水	○	簡水	工水		下水
事業名	災害に強い施設の構築事業(管路の耐震化等)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)				
0822	【上水】								
政策【分野】	にぎわいと住みやすいまちをつなぐ【都市空間】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約					
政策別未来像	都会と田舎の住みやすさが共存している		○	－					
施策	安全な都市基盤の整備	根拠法令	水道ビジョンまつやま2019						
主な取組	災害に強い都市基盤・施設の整備								
目的・背景	【目的】地震などの災害時でも、飲料用だけでなく、命を守るさまざまな活動に必要な水道水を確保することを目的としている。 【背景】東日本大震災などでは、水道施設が甚大な被害を受け、市民生活や都市活動に大きな影響があった。近い将来、南海トラフ地震の発生が懸念されることから水道施設の耐震化を行っている。								
対象・内容	【対象】基幹管路(導水管・送水管・配水本管)、主要な配水池、重要施設への給水ルート 【内容】耐震化工事に伴う測量設計等の委託を実施 耐震化工事を実施								

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	水道事業会計	款	資本的支出ほか	項	水道建設改良費 ほか	目	水道施設整備事 業費ほか
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	基幹管路の耐震化		1,626,871
予算 (千円)	事業費計	4,905,067	4,610,621	5,425,967			給水ルートの確保		
	国費・県費		20,000	193,388					
	市債	2,525,200	2,519,711	2,354,564					
	その他	94,148	105,924	441,745					
	一般財源	2,285,719	1,964,986	2,436,270					
決算 (千円)	事業費計	1,966,813	1,813,560			主な 取組 内容 【R7】	・基幹管路の耐震化工事 ・重要施設への給水ルート確保の工事		
	国費・県費								
	市債	1,114,300	1,220,700						
	その他	82,100	5,000						
	一般財源	770,413	587,860						
	(執行率)	40%	39%						
人役	正規職員	17.4	17.5	20.7		特記 事項	2,595,288千円をR7年度からR8年度 へ繰り越し		
	その他								
	合計	17.4	17.5	20.7					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和10年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	基幹管路の耐震化整備延長		目標	30.0	30.0	30.0	30.0	整備中のため、現時点では未達成となっている。	
			実績	19.5	21.9				
	累計で増	km	達成率	65.0%	73.0%				
成果指標	基幹管路の耐震適合率		目標	48.0	48.0	48.0	48.0	目標値の達成に向け、計画的に事業を推進している。	
			実績	43.3	43.4				
	累計で増	%	達成率	90.2%	90.4%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	計画的に耐震化を進めており、毎年度着実に実績をあげているため。							
課題	特に無し					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	計画的に事業を進めることで、成果が上がっているため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道整備課	担当G	管理計画担当	連絡先	998-9841
------	-------	-----	-------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

1.事業概要【Plan】		公営企業局事業区分	上水		簡水		工水	○	下水
事業名	災害に強い施設の構築事業(管路の耐震化等)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)			事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)		
0822	【工水】								
政策【分野】	にぎわいと住みやすいまちをつなぐ【都市空間】	各種計画該当	総合計画(実施計画)			市長公約			
政策別未来像	都会と田舎の住みやすさが共存している								
施策	安全な都市基盤の整備	根拠法令	松山市工業用水道事業経営戦略						
主な取組	災害に強い都市基盤・施設の整備								
目的・背景	【目的】ユーザーへの安定給水の確保を目的としている。 【背景】工業用水道施設は、昭和27年の給水開始から約70年が経過し、管路などの老朽化が進んでいる。また、近い将来、南海トラフ地震の発生が懸念されることから工業用水道施設の耐震化を行っている。								
対象・内容	【対象】工業用水道施設 【内容】耐震化工事に伴う測量設計等の委託を実施 耐震化工事を実施								

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	工業用水道事業会計	款	資本的支出ほか	項	工業用水道建設改良費ほか	目	工業用水道施設整備事業費ほか
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	工業用水管路の耐震化		477,436
予算 (千円)	事業費計	936,366	946,450	475,270					
	国費・県費								
	市債	300,000	200,000	100,000					
	その他								
	一般財源	636,366	746,450	375,270					
決算 (千円)	事業費計	343,652	477,436			主な取組 内容 【R7】	・工業用水管路の耐震化工事 ・工業用水管路の耐震化工事に伴う測量設計委託		
	国費・県費								
	市債	200,000	100,000						
	その他								
	一般財源	143,652	377,436						
	(執行率)	37%	50%						
人役	正規職員	3.3	3.3	1.8		特記 事項	297,400千円をR7年度からR8年度へ繰り越し		
	その他								
	合計	3.3	3.3	1.8					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	工業用水管路の耐震化整備延長		目標	10.0	10.0	10.0	10.0	整備中のため、現時点では未達成となっている。	
			実績	7.9	8.0				
	累計で増	km	達成率	79.0%	80.0%				
成果指標	工業用水の管路耐震適合率		目標	30.0	30.0	35.0	35.0	外環状道路工事の進捗が影響し、未達成となった。	
			実績	25.5	25.6				
	累計で増	%	達成率	85.0%	85.3%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	工業用水の管路耐震適合率は未達成となったが、整備を計画的に進めることで耐震適合率の向上につながっているため。							
課題	松山外環状道路整備事業にあわせて工業用水管路を布設することから、その進捗によって本事業の進捗も影響を受ける。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	計画的に事業を進めることで、成果が上がっているため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道整備課	担当G	管理計画担当	連絡先	998-9841
------	-------	-----	-------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

1.事業概要【Plan】		公営企業局事業区分		上水	○	簡水		工水		下水	
事業名	施設の更新・改良事業（構造物等の更新・改良）	事業性質	1-1:自治事務（実施規定なし）	事業区分	4:工事（工事に伴う設計委託含む）						
0823											
政策【分野】					にぎわいと住みやすいまちをつなぐ【都市空間】	各種計画該当	総合計画（実施計画）		市長公約		
政策別未来像					都会と田舎の住みやすさが共存している		－		－		
施策	安全な都市基盤の整備	根拠法令	水道ビジョンまつやま2019								
主な取組	安定した水の供給と汚水処理										
目的・背景		【目的】水道水の安定供給の確保を目的としている。 【背景】水道施設は、老朽化に伴い突発的な故障が発生するおそれがあることから、計画的に更新を行っている。									
対象・内容		【対象】水道施設 【内容】更新用地を確保するための用地買収を実施 更新・改良に伴う測量設計等の委託を実施 更新・改良工事を実施									

2.事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	水道事業会計	款	資本的支出	項	水道建設改良費	目	浄水施設費ほか
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	用地購入費及び支障物件 移転補償費		86,690
予算 (千円)	事業費計	681,260	459,099	366,890					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	681,260	459,099	366,890					
決算 (千円)	事業費計	196,274	94,695			主な 取組 内容 【R7】	・市之井手浄水場の更新に伴う用地買収		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	196,274	94,695						
	(執行率)	29%	21%						
人役	正規職員	0.5	0.7	0.7		特記 事項	地権者の同意を得るのに時間を要し、令和7年度中に契約に至らなかった案件があるため、執行率が低くなっている。		
	その他								
	合計	0.5	0.7	0.7					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

事業計画(検証)改善(Check/Action)									
種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	該当地権者との用地交渉		目標	4	4	2	1	予定どおり用地交渉を行うことができた。	
			実績	4	4				
	現状維持	回	達成率	100.0%	100.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	水道施設の更新用地の確保に向けて概ね順調に進捗管理が行えているため。							
課題	地権者に事業の同意や用地買収の交渉を行うための連絡・接触に時間を要する。					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	水道施設の更新用地を確保するため、引き続き、地権者と用地買収の交渉を行う。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道整備課	担当G	管理計画担当	連絡先	998-9841
------	-------	-----	-------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

1.事業概要【Plan】		公営企業局事業区分		上水	○	簡水	工水		下水
事業名	施設の更新・改良事業(管路の更新・改良)【上水】	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)			
0823									
政策【分野】	にぎわいと住みやすいまちをつなぐ【都市空間】	各種計画該当	総合計画(実施計画)		市長公約				
政策別未来像	都会と田舎の住みやすさが共存している		○		—				
施策	安全な都市基盤の整備	根拠法令	水道ビジョンまつやま2019						
主な取組	安定した水の供給と汚水処理								
目的・背景	【目的】水道水の安定供給の確保を目的としている。 【背景】老朽化が進む配水支管の中でも、材質面で安全性に劣る硬質塩化ビニル管(VP)を原因とした漏水のリスクが高まっていることから、優先的に更新を行っている。								
対象・内容	【対象】配水支管(硬質塩化ビニル管等) 【内容】老朽管路(硬質塩化ビニル管等)更新工事に伴う測量設計等の委託を実施 老朽管路(硬質塩化ビニル管等)更新工事を実施								

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	水道事業会計	款	資本的支出	項	水道建設改良費	目	水道施設整備事業費ほか
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	硬質塩化ビニル管の更新		62,853
予算 (千円)	事業費計	103,642	129,886	161,520					
	国費・県費								
	市債	25,600	45,950	57,478					
	その他	100	1,151	7,599					
	一般財源	77,942	82,785	96,443					
決算 (千円)	事業費計	49,540	62,853			主な取組 内容 【R7】	・硬質塩化ビニル管の更新工事 ・硬質塩化ビニル管の更新工事に伴う測量設計委託		
	国費・県費								
	市債	22,400	54,600						
	その他								
	一般財源	27,140	8,253						
	(執行率)	48%	48%						
人役	正規職員	0.4	0.5	0.6		特記事項 <td rowspan="3">64,500千円をR7年度からR8年度へ繰り越し</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td>	64,500千円をR7年度からR8年度へ繰り越し		
	その他								
	合計	0.4	0.5	0.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和10年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	硬質塩化ビニル管の更新延長		目標	11	13	13	13	年間を通じて、概ね計画どおりに工事を実施することができた。 (水道管路管理センター実施分を含む)	
			実績	13.5	14.0				
	累計で増	km	達成率	122.7%	107.7%				
成果指標	硬質塩化ビニル管の残存率		目標	8.1	8.1	8.1	8.1	概ね計画どおりに残存率を削減することができた。 (水道管路管理センター実施分を含む)	
			実績	10.2	9.6				
	累計で減	%	達成率	97.7%	98.4%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	事業を積極的に推進してきたことで、水道ビジョンまつやま2019で示す成果指標である残存率を削減できたため。							
課題	特に無し					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	計画的に事業を進めることで、成果が上がっているため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道整備課	担当G	管理計画担当	連絡先	998-9841
------	-------	-----	-------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

1.事業概要【Plan】		公営企業局事業区分	上水	簡水	○	工水	下水
事業名	施設の更新・改良事業(管路の更新・改良)【簡水】	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)			事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
0823							
政策【分野】	にぎわいと住みやすいまちをつなぐ【都市空間】	各種計画該当	総合計画(実施計画)			市長公約	
政策別未来像	都会と田舎の住みやすさが共存している		○			—	
施策	安全な都市基盤の整備	根拠法令	松山市簡易水道事業経営戦略				
主な取組	安定した水の供給と汚水処理						
目的・背景	【目的】水道水の安定供給の確保を目的としている。 【背景】中島地区では、水道管からの漏水が頻発するなど、簡易水道施設の老朽化が進んでいることから、計画的に更新を行っている。						
対象・内容	【対象】中島地区簡易水道施設 【内容】老朽管路更新工事を実施 管路更新工事完成後、路面復旧工事を実施						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	簡易水道事業会計	款	中島地区簡易水道 資本的支出ほか	項	簡易水道建設改 良費ほか	目	簡易水道施設整 備事業費ほか
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	中島簡水の水道施設整備 (東中島地区配水管整備)		69,694
予算 (千円)	事業費計	241,065	151,201	120,682					
	国費・県費	38,897	34,500	36,693					
	市債	22,600	17,900	27,400					
	その他	22,600	17,900	27,400					
	一般財源	156,968	80,901	29,189					
決算 (千円)	事業費計	206,801	69,694			主な 取組 内容 【R7】	・東中島地区の配水管更新工事 ・配水管更新工事完成後の舗装復旧工事		
	国費・県費	33,897	16,907						
	市債	20,000	9,000						
	その他	20,000	9,000						
	一般財源	132,904	34,787						
	(執行率)	86%	46%						
人役	正規職員	0.9	0.9	0.9		特記 事項	29,800千円をR7年度からR8年度へ繰 り越し		
	その他								
	合計	0.9	0.9	0.9					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	東中島地区配水管の整備延長		目標	9.0	9.0	—	9.0	計画的に整備を進めることで、目標を達成することができた。	
			実績	8.7	9.0				
	累計で増	km	達成率	96.7%	100.0%				
成果指標	法定耐用年数超過管路率		目標	35.0以下	35.0以下	—	35.0以下	神浦地区配水管整備事業の開始時期を見直したことで、未達成となった。	
			実績	37.8	35.9				
	累計で減	%	達成率	95.7%	98.6%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	法定耐用年数超過管路率は未達成となったが、更新を計画的に進めることで老朽化の抑制につながっているため。							
課題	特に無し					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	計画的に事業を進めることで、成果が上がっているため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道整備課	担当G	管理計画担当	連絡先	998-9841
------	-------	-----	-------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

1.事業概要【Plan】		公営企業局事業区分	上水	○	簡水	○	工水	○	下水
事業名	管路の新設・移設事業(道路改良に伴う整備等)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)				事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
0823									
政策【分野】	にぎわいと住みやすいまちをつなぐ【都市空間】	各種計画該当	総合計画(実施計画)				市長公約		
政策別未来像	都会と田舎の住みやすさが共存している		－				－		
施策	安全な都市基盤の整備	根拠法令	水道ビジョンまつやま2019 等						
主な取組	安定した水の供給と汚水処理								
目的・背景	【目的】道路工事等の円滑な施工を目的としている。 【背景】道路管理者及び地下埋設事業者等が施工する工事の支障となる水道管の移設工事を行っている。								
対象・内容	【対象】水道管 【内容】管路整備に伴う測量設計等の委託を実施 管路整備工事を実施								

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	水道事業会計ほか	款	資本的支出ほか	項	水道建設改良費ほか	目	配水施設費ほか
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	下水道工事に伴う移設改良		115,466
予算 (千円)	事業費計	968,239	495,791	513,839			管網の整備		81,125
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	968,239	495,791	513,839		道路改良に伴う整備		46,350	
決算 (千円)	事業費計	575,395	278,288			主な取組 内容 【R7】	・下水道工事に伴う管路移設工事 ・更新等に伴う配水管網整備工事 ・道路改良等に伴う管路移設工事		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	575,395	278,288						
	(執行率)	59%	56%						
人役	正規職員	3.4	2.6	2.6		特記 事項	68,400千円をR7年度からR8年度へ繰り越し		
	その他								
	合計	3.4	2.6	2.6					

3.事業評価（検証・改善）【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	依頼に基づく管路移設 工事対応率		目標	100.0	100.0	100.0	100.0	依頼に基づき、速やかに工事発注を行った ことで達成できた。	
			実績	100.0	100.0				
	現状維持	%	達成率	100.0%	100.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	道路の新設・改良や下水道工事等に伴い、必要な水道管の整備を行ったため。							
課題	特に無し					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	関連機関と連携しながら事業を進めること で、成果が上がっているため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道整備課	担当G	管理計画担当	連絡先	998-9841
------	-------	-----	-------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

1.事業概要【Plan】		公営企業局事業区分		上水	○	簡水	○	工水	○	下水	○
事業名	情報システムの運用事務（公共事業積算システム等）		事業性質	1-1:自治事務（実施規定なし）				事業区分	2:委託		
1132											
政策【分野】	つなぐを支える【連携】		各種計画該当	総合計画（実施計画）				市長公約			
政策別未来像	つながりがまちの活力になっている			－				－			
施策	DXの推進		根拠法令								
主な取組	情報システムの適切な管理										
目的・背景		【目的】公共事業積算システム等の安定稼働を図ることを目的としている。 【背景】工事等の積算及び発注業務の効率化のため、公共事業積算システム等を導入した。									
対象・内容		【対象】公共事業積算システム等 【内容】システムソフトウェアの賃貸借 システムの運用支援業務の委託									

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	水道事業会計ほか	款	水道事業費用ほか	項	営業費用	目	総係費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	公共事業積算システムソフトウェアの賃貸借		4,329
予算 (千円)	事業費計	11,334	10,554	11,834			公共事業積算システム運用支援業務委託		3,041
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	11,334	10,554	11,834		CAD発注者支援ソフトの運用に伴う負担金		2,245	
決算 (千円)	事業費計	10,016	10,176			主な 取組 内容 【R7】	・公共事業積算システム等の維持管理		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	10,016	10,176						
	(執行率)	88%	96%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価（検証・改善）【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果 指標	システムの中断回数		目標	0	0	0	0	システムの中断等は発生せず、適正に運用 することができた。	
			実績	0	0				
	現状維持	回	達成率	100.0%	100.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	予定どおり適正に運用できたため。							
課題	特に無し					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	引き続き、適正な運用に努める。